

第46回 日本PTA近畿ブロック研究大会 京都府大会

第61回 京都府PTA研究大会 亀岡大会

開催要項

大会スローガン

時代は今！ 地域で子育て、未来を拓く

～つなげよう笑顔、わかちあおう感動を～

趣旨 現代の子どもたちは、社会環境の目まぐるしい変化や多様化するライフスタイルの中で、様々な刺激を受けながら自己実現を目指し精一杯に生き抜こうとしています。この刺激は成長する糧にもなりますが、迷いをもたらすものにもなりかねません。

そんな時だからこそ、私たち大人たちが深い思慮と愛情をもって子どもたちを受けとめ、しっかりとした生き様を見せることが問われています。

今こそ地域・家庭・学校の協働の中で、豊かな未来を拓くPTA活動の実践が求められているのではないのでしょうか。

歴史と文化が息づく「千年の都」京都、「明智光秀」が拓こうとした新しい時代の出発点となった亀岡の地において、「時代は今！ 地域で子育て、未来を拓く」を大会テーマとして、私たちが笑顔でつながり、感動をわかちあえる地域社会を創造し、子どもたちの輝ける未来が拓かれることを願い、本研究大会を開催します。

会期 令和2年 **11月8日** 日

収録・発信会場 ガレリアかめおか 〒621-0806 京都府亀岡市余部町宝久保1-1

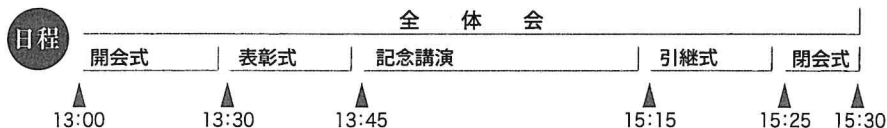
対象者 近畿ブロックPTA協議会会員 約140万人
※会場への参加者(スタッフ等) 約100人

参加費 徴収しません。(当初予定していました一人3,000円の参加費)

開催形態 全体会は、webでライブ配信します。
分科会の発表は、紙面で行い、大会記録誌に掲載し、配布します。

主催 近畿ブロックPTA協議会 京都府PTA協議会

後援 文部科学省 公益社団法人日本PTA全国協議会 京都府
亀岡市 京都府教育委員会 大阪市教育委員会
神戸市教育委員会 京都市教育委員会 滋賀県教育委員会
奈良県教育委員会 大阪府教育委員会 和歌山県教育委員会
兵庫県教育委員会 亀岡市教育委員会



※当初、午前中に予定していました分科会は、紙面開催とします。

記念講演

演題 「夢をあきらめない！」

講師 石黒 由美子氏

アーティスティックスイミング* 北京五輪代表選手

愛知県出身。小学2年生の秋、交通事故に遭遇。顔面を540針、口の中を260針縫う大けがを負う。治療中に、テレビで見たアーティスティックスイミング(2018年シンクロナイズドスイミングから名称変更)に憧れ、翌年から競技を開始。記憶喪失、顔面麻痺、視力障害、難聴等の後遺症に苦しみながらも、母と二人でオリンピック出場を目指し、見事に成し遂げる。厳しい練習の傍ら、愛知教育大学で幼稚園から高校までの教員免許を取得した努力家。現在は、「いじめ問題の実態把握とその解決策」をテーマに研究する一方、自身の体験を元にした講演活動も精力的に行っている。



石黒 和美氏

石黒選手の母親

*2018年 シンクロナイズドスイミングから名称変更

分科会

領域・研究課題 担当協議会

第1分科会【組織・運営】

より親しみやすいPTA組織を模索し、地域社会との連携を通じて、子どもたちの健やかな成長と明るい未来を拓くための運営の方策を考える。

京都府・奈良県

第2分科会【生涯学習】

親も子も、生涯を通じて学びを見出し、自己研鑽し、地域との絆を深められるPTA活動を通じて、学校が生涯学習の拠点として地域協働を高める場となる方策を考える。

大阪市・大阪府

第3分科会【人権学習】

子どもたちが、それぞれの個性を肯定的に捉え「自分らしさ」に気付けることが大切である。家庭・学校・地域において、大人たちが、自他共に排除しない社会を目指す取組を考える

神戸市・和歌山県

第4分科会【青少年健全育成】

ネット社会の中で、情報を見極め責任ある行動がとれる力の育成が必要である。子どもたちが安心して生き抜くために必要な「人とつながる力」を育てるため、家庭・学校・地域の連携の在り方を考える。

京都市・兵庫県

第5分科会【広報活動】

「未来は人と人が拓く」…親子の関係性や親と先生との役割分担など、対話ができる場所を広げるPTA活動を目指す。

日々の活動や成果、仲間作りに役立つ情報をより多く発信する活動を考える。

滋賀県・京都府

第6分科会【特別分科会】

子供たちと取り組む脱プラスチック ～かめおかプラスチックごみゼロ宣言の挑戦～

原田 禎夫氏 大阪商業大学公共学部准教授(前亀岡市立安詳小学校PTA会長)

※分科会の実践発表は、大会記録誌に掲載し、配布します。